

# 審査員の

# ご紹介・選評

応募された作品の読者として、最初の出会いが最も重要です。最初の印象からの期待、中盤の意外な展開と盛り上がり、そして最後の納得です。出しの発想は魅力的で期待大でも、展開や結末に無理があったり、お話が面白くても絵の仕上がりに不足があり戻つてみだつたりします。選出された入賞14作はストーリーや絵の完成度が高い作品です。大賞作品は書店に並び、その方の初出版となりますので、イラストレーターになるように審査員全員で時間をかけて議論して賞が決まっています。上位入賞作品および選外の皆さんの次回作を楽しみにしています。

## Profile

新潟県生まれ。色鉛筆を使った細やかであたたかい画風の絵を数多く発表。主な絵本作品に、『ごんぎつね』『手ぶくろを買いに』『猫の事務所』（偕成社）、『おかあさんの目』（あかね書房）、『ころわんシリーズ』（ひさかたチャイルド）、画集に『雲の信号』（偕成社）などがある。



くろい けん  
**黒井 健**

絵本画家

毎年、今回はどんな物語の世界に出逢えるだろうかと、わくわくしながら候補作を読ませて頂いています。楽しんで読んでいられるだけならいいのですが、たくさん作品の中から大賞と優秀賞を選び出すとなると、これはなかなか難しく、毎回本当に悩みに悩んでいます。あと一歩で……。ここをもう少し工夫すれば……。という作品も少なくありません。上位入賞とそれ以外の作品との差は実は紙一重である気がします。あとひと息の研鑽と、今一度の推敲を、どうぞ最後の最後まで！

## Profile

東京生まれ。日本の神話や伝承をいかしたファンタジー読物や絵本を数多く発表。『クヌギ林のザワザワ荘』で日本児童文学者協会新人賞他、『小さなスズナ姫』シリーズで新美南吉児童文学賞、『益まねき』で野間児童文芸賞等を多数受賞している。他の作品に『菜の子先生』シリーズ、絵本『まゆとおに』など。



とみやす ようこ  
**富安 陽子**

童話作家

それぞれに魅力のある絵が多かったように思う。『さんたくんのにっこりよこ』のように力強く、つい笑ってしまうような絵、『タフシーとゆきのはな』のように静かで涼しく、ほっこりとする絵、また、グッとディッサン力を生かした絵やアングルに気をつけた絵など、それらの画面から「作者はきつと楽しんで描いている」という思いが伝わってきた。願わくば、話の内容、アイデアに、より重点を置いて、全体を通しての構成力を強めてほしい。

## Profile

愛知県生まれ。あたたかい線でユーモラスな動物たちが登場する絵本を数多く発表。主な作品に、『どっちからよんでも』（絵本館）、『ワニぼうのこいのぼり』（文楽堂）、『うし』（アリス館）、『よいこはもうねるじかん』（BL出版）、『オレ・ダレ』『プービーとすべりだい』『ふたりのナマケモノ』（いずれも講談社）などがある。



たかばし じゅん  
**高島 純**

絵本作家

尾頭付きの立派な鯛を盛るには、大きめのお皿が必要ですね。応募作に、戦時中の沖縄の知られざる出来事を描いた意欲がありました。とても十枚に盛りきれない作品ではありませんでした。十枚に盛るには、それにふさわしい素材やテーマを選ぶことが必要ではないでしょうか。とは言え、どんなに大きな素材やテーマでも、料理の仕方で十枚に盛ることは可能です。まずは構成をどうするか。次は説明と描写のバランスをどう図るか。ぜひ挑戦してみてください。

## Profile

岡山市生まれ。現在は長野県大町市に在住。『季節風』同人。『たんぼたろう』で毎日童話新人賞、『京のかざぐるま』で日本児童文学者協会賞、『なまくら』で野間児童文芸賞を受賞。主な作品に『風の海峡』上下巻、『すし食いねえ』『はっけよい！雷電』『小説鶴杉』『風雪のペン』などがある。



よしはし みちお  
**吉橋 通夫**

児童文学作家

今回も全国から創造性に富んだ、たくさん素晴らしい作品が寄せられました。ご応募いただいた皆さま、グランプリ実施にご尽力いただいた関係者の皆さまのおかげで40周年を迎えられたことを、心より感謝申し上げます。良い本との出会いは、今も変わらず子どもたちにとってかけがえのない宝です。子どもたちの想像力を養い、異なる価値観を認め合える力を醸成してくれると信じています。次の時代をより豊かなものにできるように、日産自動車はこれからもこのグランプリを大切に育てて参ります。

## Profile

同社は、よりクリーンで安全、インクルーシブな社会の実現を目指す長期ビジョン「Nissan Ambition 2030」のもと、社会貢献活動に取り組む。次代を担う子どもたちへの支援は、同社が社会貢献活動を通じて一貫して取り組んでいるテーマであり、1984年のグランプリ創設以来、協賛を続けている。



うちだ まこと  
**内田 誠**

日産自動車(株)  
代表執行役社長兼最高経営責任者

「今日にかぎって」「ほく」は、「いいじめられてるわけじゃないけどさ、…」と語ります。この「けどさ」という口調から、運動ぎらいの「ほく」のすがたが急に立ち現れてきます。「らくやきさんころんだ」の放課後のだれもいない教室で「わたし」が目撃した光景も、「あめがふったら」の壮大な冒険も、ことばが創ったのです。そして、「さいごのお月見」の「お月見ください」「お月見どろぼつです」という子どもたち、今回も、物語の世界を創る、力のあることばに出会えました。

## Profile

日本児童文学の研究者。立教大学文学部日本文学科卒。同大学院修了。宮城教育大学助教授等をへて、現在、武蔵野大学名誉教授。日本児童文学者協会評議員も務める。『現代児童文学の語るもの』（NHKブックス）、『物語もつと深読み教室』（岩波ジュニア新書）など著書・編著多数。



みやかわ たけお  
**宮川 健郎**

(一財)大阪国際児童文学振興財団 理事長